

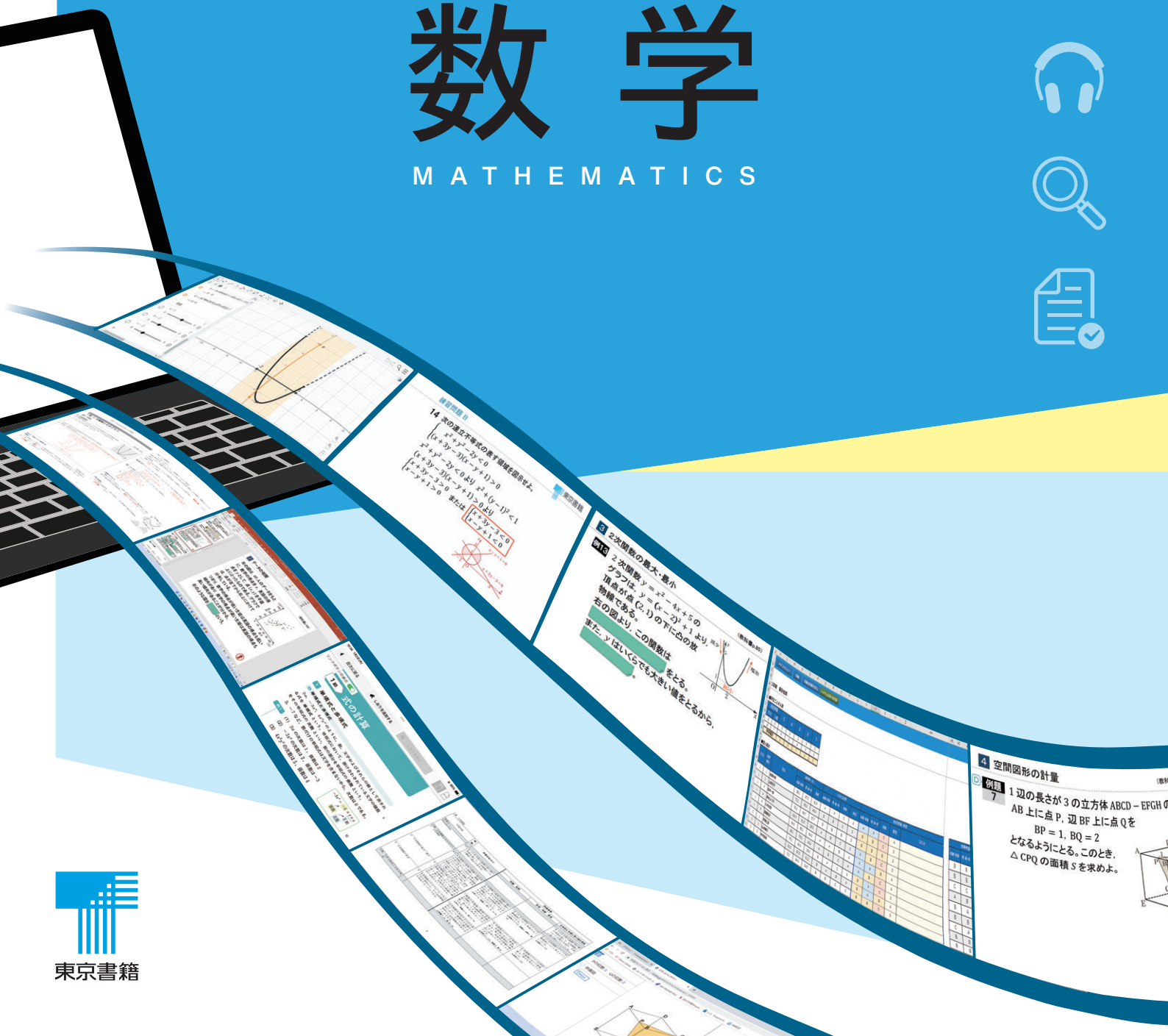


数学 デジタル商品 のご案内

令和8年度版

数学

M A T H E M A T I C S



先生の思い描く授業を 東京書籍のデジタルコンテンツが サポートします！



授業 準備

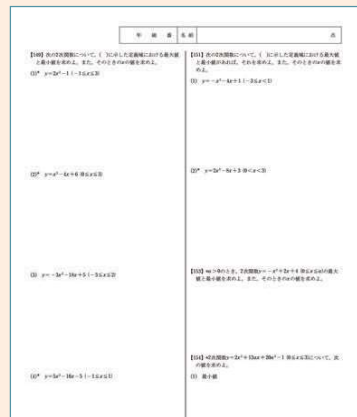
授業プリントの
作成時間を
短縮したい。



そんなときは…

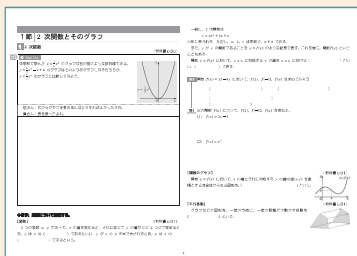
かんたん
問題プリント作成ソフト
mon-pri

→p.20



ワークシート

→p.10



10 分間テスト →p.12

教科書 Word データ →p.18

授業

生徒に一人一台の
タブレットを
導入したので、
色々活用したい。



そんなときは…

学習者用デジタルブック
学習者用デジタルワークブック →p.23



教室に電子黒板を
設置したけれど、
よいコンテンツは
ないかな？

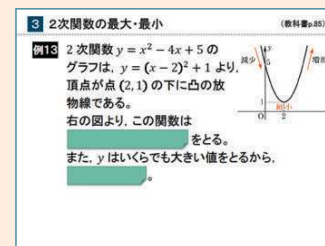


そんなときは…

指導者用デジタルブック →p.22



デジタル板書
→p.8



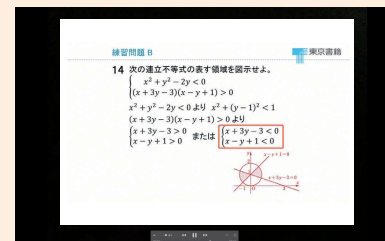
節末の問題、章末の
問題は、授業で解説
する時間がない。



そんなときは…

解説動画

→p.7



宿題

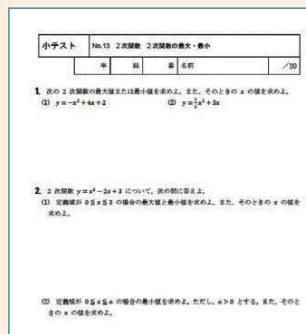
生徒への宿題は
どうしようかな？



そんなときは…

10分間テスト

→p.12



かんたん
問題プリント作成ソフト
mon-pri

→p.20

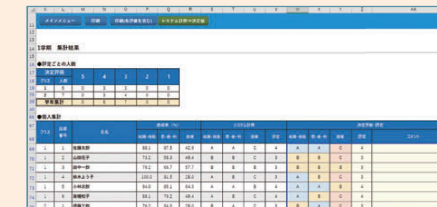
評価

観点別評価って
どうすれば
いいのかな？



そんなときは…

評価支援ツール →p.16



評価規準例 →p.15

オリジナル評価問題 →p.13



指導をサポートする

※ D-Meister 指導用 DVD-ROM と同内容の Web 配信サービスです。

2 解説動画

生徒の自学自習をサポートする教科書の節末問題、章末問題等の解説動画

→ p.7

3 デジタル板書

プロジェクタや電子黒板などで映すことでスムーズな授業を実現するパワーポイント板書

→ p.8

4 ワークシート

生徒のノートを取る時間を短縮し、宿題にも活用できる教科書内容を書き込み式にした授業プリント

→ p.10

1 デジタルコンテンツ

プロジェクタや電子黒板に映すことで見てわかる授業を実現するシミュレーションや動画等のコンテンツ

→ p.6

5 10 分間テスト

自習時間や授業の余時間で有効活用できる短時間で終わる小問テスト集

→ p.12

6 オリジナル評価問題

定期テストなどでも使用できる单元ごとに定着を確認できる評価テスト

→ p.13

12 詳細解答 PDF

生徒の自学自習をサポートする教科書の問、節末問題、章末問題の詳細解答の PDF データ

→ p.19

7 シラバス案

シラバス作成の資料として利用できる指導書に掲載しているシラバス案の Word データ

→ p.14

8 評価規準例

評価規準作成の資料として利用できる指導書に掲載している評価規準例の Word データ

→ p.15

11 教科書 PDF

教科書紙面の PDF データ

→ p.19

10 教科書 Word データ

オリジナル授業プリントの作成などに役立つ教科書本文の Word データ

→ p.18

9 評価支援ツール

観点別学習状況の評価を支援する Excel 形式のツール

→ p.16

ICT 教育に

ご活用ください!

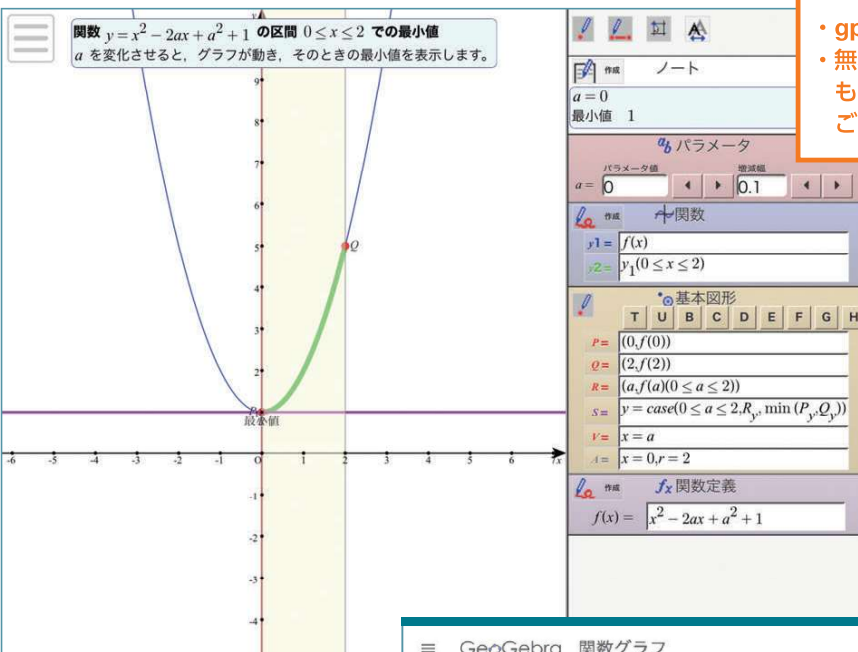
1 デジタルコンテンツ

データ形式 ggb, gps
必要なソフト GeoGebra, GRAPES

- ◆シミュレーションや動画などのコンテンツです。プロジェクタや電子黒板などで映すことで、見てわかる授業を展開できます。
- ◆グラフの変更や立体の作図なども、簡単な操作で実現できるため、授業を効率的に進めることができます。
- ◆軌跡の考え方や、式とグラフの変化、図形と方程式の関係などをアニメーションで表示して、直観的な理解を補います。

※ Google Chrome™ (Windows 版) 以外の Web ブラウザでは、正しく表示されない場合があります。

■ デジタルコンテンツは GRAPES 版, GeoGebra 版をご用意しました。
GRAPES と GeoGebra コンテンツは、自由に編集してお使いいただけます。



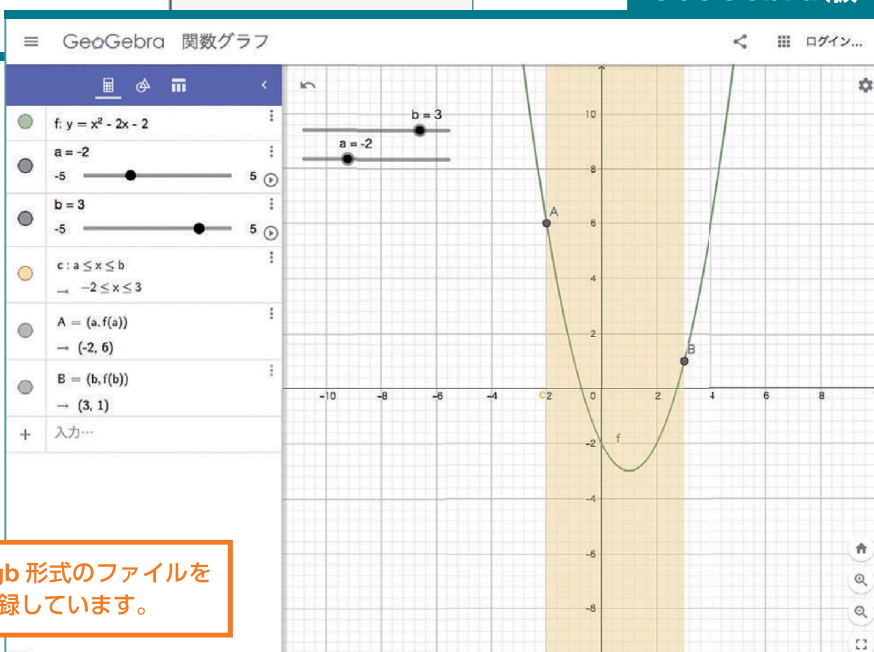
関数 $y = x^2 - 2ax + a^2 + 1$ の区間 $0 \leq x \leq 2$ での最小値
 a を変化させると、グラフが動き、そのときの最小値を表示します。

・gps 形式のファイルを収録しています。
・無料 iPad アプリ「GRAPES-light」
もしくは、「GRAPES-light Web 版」を
ご利用ください。



サンプルは
こちらから

GRAPES 版



・ggb 形式のファイルを
収録しています。

GeoGebra 版

※「GRAPES」および「GeoGebra」は、アプリやブラウザ上で様々なグラフや図形などを描画できる汎用的な数学ソフトウェアです。

2 解説動画

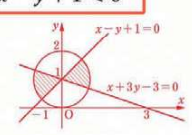
- ◆教科書の節末問題、章末問題等の解説動画をオンライン配信しています。
- ◆タブレットやスマートフォンからも視聴することができるため、授業進度や生徒の学習状況に合わせて利用できます。

練習問題 B

14 次の連立不等式の表す領域を図示せよ。

$$\begin{cases} x^2 + y^2 - 2y < 0 \\ (x + 3y - 3)(x - y + 1) > 0 \end{cases}$$

$x^2 + y^2 - 2y < 0$ より $x^2 + (y - 1)^2 < 1$
 $(x + 3y - 3)(x - y + 1) > 0$ より
 $\begin{cases} x + 3y - 3 > 0 \\ x - y + 1 > 0 \end{cases}$ または $\begin{cases} x + 3y - 3 < 0 \\ x - y + 1 < 0 \end{cases}$



音声付きの解説が入っている
ため、わからない部分を繰り返し
学習できます。

※画像はイメージです。
実際の動画とは異なる
場合があります。



節末の問題、章末の問題は、
授業で解説する時間がない。

➡ そんなご希望を解説動画が叶えます！

- ・例えば、改訂版 数学 Standard シリーズの場合、すべての Level Up 解説動画があります！

使い方のいろいろ

教科書のすべての問題を
解くことができました。

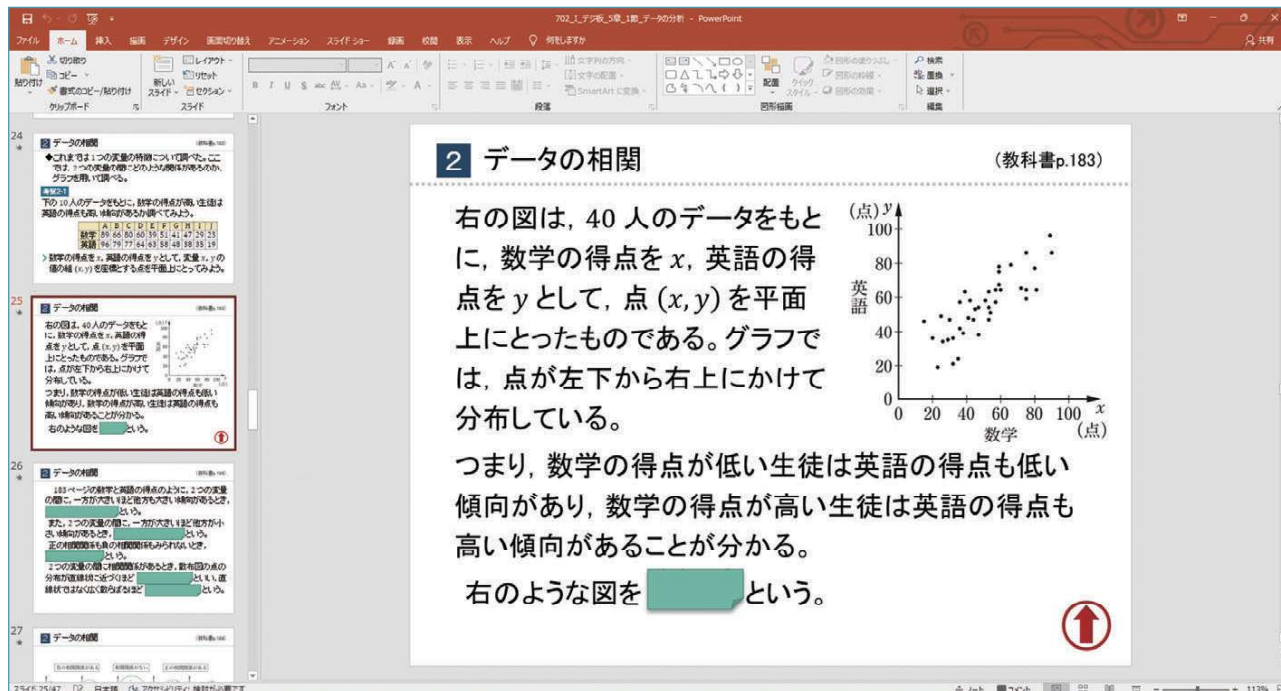
自宅学習で節末、章末問題に
取り組ませています。

授業の余時間を
有効に活用できました。

3 デジタル板書

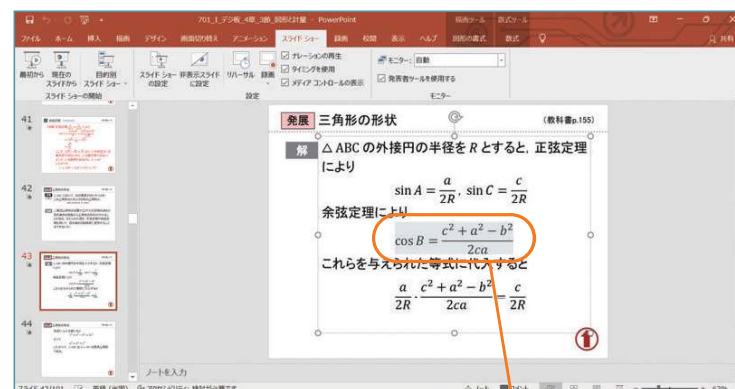
データ形式 PowerPoint (pptx)
必要なソフト Microsoft® PowerPoint

- ◆教科書の本文や例・例題，問を収録しています。
- ◆プロジェクタや電子黒板などに投影することで，板書の代わりに教科書内容を解説することができます。
- ◆複雑な表やグラフは板書に時間がかかりますが，デジタル板書を使用することでその時間を短縮でき，問題を解いたり，話し合ったりする時間を確保できます。
- ◆デジタルコンテンツやワークシートと一緒に使用すると，より効果的です。



PowerPoint のデータ形式だからできること

- 授業の進め方に合わせて，スライドの追加・削除ができます。
- 指導の順序，指導法，生徒の理解度に合わせて，自由に編集できます。
- アニメーションを工夫すると，より効果的な指導ができます。



簡単な数式は，
編集できるように作成

使い方のいろいろ

基本事項，定義や定理，例・例題の解説に

1 実数 実数 (教科書p.24)

これまで学んできたことから，実数は次のように分類することができる。

実数の分類		実数	
実数	有理数	整数	有理数
	無理数	有限小数	無理数
		循環小数	
		循環しない無限小数	

有理数: $\frac{5}{2}, -1.7, 1.\dot{6}, \dots$
無理数: $\sqrt{2}, -\sqrt{7}, \pi, \dots$
整数: $-1, 0, 1, \dots$

教科書の本文や表などを映して，板書の時間を短縮

ワークシートと一緒に

デジタル板書の「ふせん」とワークシートの（ ）が対応しています。

1 直角三角形と三角比 (教科書p.136)

◆直角三角形の直角をはさむ 2 つの辺の比の値について学んだ。ここでは，ほかの辺の比の値について学ぶ。

【サイン・コサイン】
タンジェントの場合と同様に， $\angle C$ が直角である直角三角形 ABC において， $\frac{BC}{AB}, \frac{AC}{AB}$ の値は $\angle A$ の大きさ A だけにによって定まる。

$\frac{BC}{AB}$ を A の **サイン** または **正弦** といい， $\sin A$ で表す。
 $\frac{AC}{AB}$ を A の **コサイン** または **余弦** といい， $\cos A$ で表す。

デジタル板書の画面

2 2次関数とそのグラフ $y = a(x-p)^2$ のグラフ (教科書p.80)

したがって，
 $y = 2(x-3)^2$ のグラフは，
 $y = 2x^2$ のグラフを
 x 軸方向に 3
だけ平行移動した放物線
である。
この放物線の軸は
直線 $x = 3$ ，頂点は点 $(3, 0)$ である。

表やグラフが後から表示され，
グラフはアニメーションで平行移動

◆直角三角形の直角をはさむ 2 つの辺の比の値について学んだ。
ここでは，ほかの辺の比の値について学ぶ。
【サイン・コサイン】
タンジェントの場合と同様に， $\angle C$ が直角である直角三角形 ABC において，
 $\frac{BC}{AB}, \frac{AC}{AB}$ の値は $\angle A$ の大きさ A だけにによって定まる。

$\frac{BC}{AB}$ を A の () または () といい，() で表す。
 $\frac{AC}{AB}$ を A の () または () といい，() で表す。

デジタル板書に対応したワークシート

デジタルコンテンツと一緒に

デジタル板書では，シミュレーションや複雑な動きはできません。
デジタルコンテンツを一緒にお使いいただくと，より具体的でわかりやすい説明ができます。

4 空間図形の計量 (教科書p.159)

例題 7 1 辺の長さが 3 の立方体 ABCD-EFGH の辺 AB 上に点 P，辺 BF 上に点 Q を BP = 1, BQ = 2 となるようにとる。このとき， $\triangle CPQ$ の面積 S を求めよ。

デジタル板書の画面

P の位置: 1 Q の位置: 2

断面図

Reset

立方体を回転させて三角形の形状を確認

デジタル板書に対応したデジタルコンテンツ

80

1 節 2 次関数とそのグラフ

1 2 次関数

Set Up

中学校で学んだ $y = \frac{1}{2}x^2$ のグラフは右の図のような放物線である。
 $y = \frac{1}{2}x^2 - x + 3$ のグラフはどのようなグラフになるだろうか。
 $y = \frac{1}{2}x^2$ のグラフと比較してみよう。

悠さん：式からグラフを考えるにはどうすればよかったかな。
真さん：表を使ったよね。

$y = \frac{1}{2}x^2 - x + 3$ について x と y の表をつくり，どのようなグラフになるか調べてみよう。

x	...	-3	-2	-1	0	1	2	3	...
y	...	$\frac{21}{2}$	7	$\frac{9}{2}$	3	$\frac{5}{2}$	3	$\frac{9}{2}$	...

さらに細かく点をとって調べてみよう。

教科書 数学 I The 探究 p.80 ~ 81

81

1 節 2 次関数とそのグラフ

ねらい

まず，用語について整理する。

関数

2 つの変数 x, y があって， x の値を定めると，それに応じて y の値がただ 1 つだけ定まるとき， y は x の関数であるといい， y が x の 2 次式で表されるとき， y は x の 2 次関数であるという。

5 一般に，2 次関数は $y = ax^2 + bx + c$ の形に表される。ただし， a, b, c は定数で， $a \neq 0$ である。

また， y が x の関数であることを $y = f(x)$ のような記号で表す。これを

10 単に，関数 $f(x)$ ということもある。

関数 $y = f(x)$ において， $x = a$ に対応する y の値を $x = a$ における

3 章

1 節 2 次関数とそのグラフ

1 節 2 次関数とそのグラフ

1 2 次関数

教科書

Set Up

中学校で学んだ $y = \frac{1}{2}x^2$ のグラフは右の図のような放物線である。
 $y = \frac{1}{2}x^2 - x + 3$ のグラフはどのようなグラフになるだろうか。
 $y = \frac{1}{2}x^2$ のグラフと比較してみよう。

悠さん：式からグラフを考えるにはどうすればよかったかな。
真さん：表を使ったよね。

◆まず，用語について整理する。

【関数】 2 つの変数 x, y があって， x の値を定めると，それに応じて y の値がただ 1 つだけ定まるとき， y は x の であるといい， y が x の 2 次式で表されるとき， y は x の であるという。

生徒のノートを取る時間が短縮できました。

(解答ワークシート)

1 節 2 次関数とそのグラフ

2 次関数

教科書 p.80

中学校で学んだ $y = \frac{1}{2}x^2$ のグラフは右の図のような放物線である。
 $y = \frac{1}{2}x^2 - x + 3$ のグラフはどのようなグラフになるだろうか。
 $y = \frac{1}{2}x^2$ のグラフと比較してみよう。

悠さん：式からグラフを考えるにはどうすればよかったかな。
真さん：表を使ったよね。

$y = \frac{1}{2}x^2 - x + 3$ について x と y の表をつくり，どのようなグラフになるか調べてみよう。

x	-3	-2	-1	0	1	2	3	...
y	$\frac{21}{2}$	7	$\frac{9}{2}$	3	$\frac{5}{2}$	3	$\frac{9}{2}$	...

さらに細かく点をとって調べてみよう。

◆まず，用語について整理する。

【関数】 2 つの変数 x, y があって， x の値を定めると，それに応じて y の値がただ 1 つだけ定まるとき， y は x の であるといい， y が x の 2 次式で表されるとき， y は x の であるという。

一般に，2 次関数は $y = ax^2 + bx + c$ の形に表される。ただし， a, b, c は定数で， $a \neq 0$ である。

また， y が x の関数であることを $y = f(x)$ のような記号で表す。これを単に，関数 $f(x)$ ということもある。

関数 $y = f(x)$ において， $x = a$ に対応する y の値を $x = a$ における (関数の値) とい

例 1 関数 $f(x) = 12 - 4x$ において， $f(1)$ ， $f(-2)$ ， $f(a)$ を求めてみよう。

() () ()

問 1 次の関数 $f(x)$ について， $f(2)$ ， $f(-3)$ ， $f(a)$ を求めよ。

(1) $f(x) = 2x - 3$

(2) $f(x) = x^2$

【関数のグラフ】 関数 $y = f(x)$ において， x の値とそれに対応する y の値の組 (x, y) を座標とする点全体からなる図形を，(関数 $y = f(x)$ のグラフ) という。

【平行移動】 グラフなどの図形を，一定の方向に，一定の距離だけ動かす移動を (平行移動) という。

一般に，2 次関数は $y = ax^2 + bx + c$ の形に表される。ただし， a, b, c は定数で， $a \neq 0$ である。

また， y が x の関数であることを $y = f(x)$ のような記号で表す。これを単に，関数 $f(x)$ ということもある。

関数 $y = f(x)$ において， $x = a$ に対応する y の値を $x = a$ における (関数の値) とい

例 1 関数 $f(x) = 12 - 4x$ において， $f(1)$ ， $f(-2)$ ， $f(a)$ を求めてみよう。

() () ()

問 1 次の関数 $f(x)$ について， $f(2)$ ， $f(-3)$ ， $f(a)$ を求めよ。

(1) $f(x) = 2x - 3$

(2) $f(x) = x^2$

【関数のグラフ】 関数 $y = f(x)$ において， x の値とそれに対応する y の値の組 (x, y) を座標とする点全体からなる図形を，(関数 $y = f(x)$ のグラフ) という。

【平行移動】 グラフなどの図形を，一定の方向に，一定の距離だけ動かす移動を (平行移動) という。

予習用のプリントとして活用しています。

デジタル板書と合わせて使うと時短につながりました。

1

10

11

5 10 分間テスト

データ形式 PDF, Word (docx)
必要なソフト Microsoft® Word

- ◆10 分間の小問テスト集です。
- ◆日々の学習の確認として使用できます。

小テスト	No.13 2 次関数 2 次関数の最大・最小
年	組
番	名前
	/20

1. 次の 2 次関数の最大値または最小値を求めよ。また、そのときの x の値を求めよ。
- (1) $y = -x^2 + 4x + 2$ (2) $y = \frac{1}{2}x^2 + 3x$
2. 2 次関数 $y = x^2 - 2x + 3$ について、次の問に答えよ。
- (1) 定義域が $0 \leq x \leq 3$ の場合の最大値と最小値を求めよ。また、そのときの x の値を求めよ。
- (2) 定義域が $0 \leq x \leq a$ の場合の最小値を求めよ。ただし、 $a > 0$ とする。また、そのときの x の値を求めよ。

自習時間や授業の余時間の活用、家庭学習用など、授業進度に合わせてさまざまな用途で活用できます。

家庭学習にも
有効な詳細解答付

小テスト解答 No.13 2 次関数 2 次関数の最大・最小

1. (1) $y = -x^2 + 4x + 2$
 $= -(x^2 - 4x) + 2$
 $= -(x^2 - 4x + 4) + 2 + 4$
 $= -(x - 2)^2 + 6$
グラフは右の図のようになるから、
 $x = 2$ で最大値 6
最小値なし
- (2) $y = \frac{1}{2}x^2 + 3x$
 $= \frac{1}{2}(x^2 + 6x)$
 $= \frac{1}{2}\{(x + 3)^2 - 9\}$
 $= \frac{1}{2}(x + 3)^2 - \frac{9}{2}$
グラフは右の図のようになるから、
最大値なし
 $x = -3$ で
最小値 $-\frac{9}{2}$
2. (1) $y = x^2 - 2x + 3$
 $= (x - 1)^2 + 2$
 $0 \leq x \leq 3$ の範囲でグラフは右の図の放物線の実線部分になるから、
 $x = 3$ で最大値 6
 $x = 1$ で最小値 2
- (2) (i) $0 < a < 1$ のとき
 $0 \leq x \leq a$ の範囲でグラフは右の図の放物線の実線部分になるから、
 $x = a$ で
最小値 $a^2 - 2a + 3$
- (ii) $1 \leq a$ のとき
 $0 \leq x \leq a$ の範囲でグラフは右の図の放物線の実線部分になるから、
 $x = 1$ で
最小値 2
- よって、(i), (ii) より
 $0 < a < 1$ のとき $x = a$ で最小値 $a^2 - 2a + 3$
 $1 \leq a$ のとき $x = 1$ で最小値 2

生徒の計算力が
向上しました。



6 オリジナル評価問題

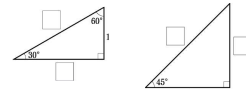
データ形式 PDF, Word (docx)
必要なソフト Microsoft® Word

- ◆学習のまとめりと共に定着度を確認できるテストです。
- ◆定期テストなどで使用できます。

4 章・1 節 鋭角の三角比

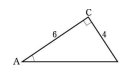
- ① 直角三角形と三角比
- ② 三角比の相互関係

1 次の直角三角形の辺の長さを求め、三角比の表を完成させよ。

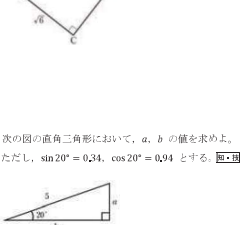


A	30°	45°	60°
sin A			
cos A			
tan A			

2 次の図において、sin A, cos A, tan A の値を求めよ。



3 次の図の直角三角形において、a, b の値を求めよ。



4 学校の校舎の屋上から地上の木の根元を見下ろすときの俯角は 75° であった。校舎から木の根元までの水平距離を 15m であるとして、校舎の高さは何 m か。ただし、 $\tan 75^\circ = 3.7$ とする。



組	番号	名前

5 次の図に答えよ。

(1) A が鋭角で、 $\cos A = \frac{1}{2}$ であるとき、sin A, tan A の値を求めよ。

(2) A が鋭角で、 $\tan A = 2$ であるとき、cos A, sin A の値を求めよ。

6 次の三角比を 45° 以下の角の三角比で表せ。

(1) $\sin 80^\circ$

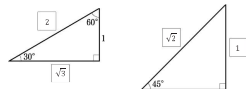
(2) $\cos 61^\circ$

(3) $\tan 77^\circ$

4 章・1 節 鋭角の三角比

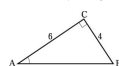
- ① 直角三角形と三角比
- ② 三角比の相互関係

1 次の直角三角形の辺の長さを求め、三角比の表を完成させよ。

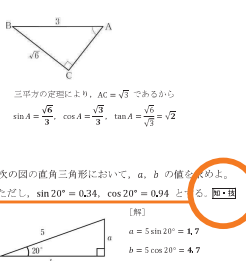


A	30°	45°	60°
sin A	$\frac{1}{2}$	$\frac{1}{\sqrt{2}}$	$\frac{\sqrt{3}}{2}$
cos A	$\frac{\sqrt{3}}{2}$	$\frac{1}{\sqrt{2}}$	$\frac{1}{2}$
tan A	$\frac{1}{\sqrt{3}}$	1	$\sqrt{3}$

2 次の図において、sin A, cos A, tan A の値を求めよ。



3 次の図の直角三角形において、a, b の値を求めよ。



4 学校の校舎の屋上から地上の木の根元を見下ろすときの俯角は 75° であった。校舎から木の根元までの水平距離を 15m であるとして、校舎の高さは何 m か。ただし、 $\tan 75^\circ = 3.7$ とする。



家庭学習にも
有効な詳細解答付

問題ごとに「知識・技能」「思考・判断・表現」といった評価の観点を明記

知識・技能

思考・判断・表現

校舎の高さを求める

7

シラバス案

データ形式

Word (docx)

必要なソフト

Microsoft® Word

◆指導書に掲載しているシラバス案のデータです。

◆シラバス作成時の資料として、学校の実体に合わせて加工・編集してご利用ください。

8

評価規準例

データ形式

Word (docx)

必要なソフト

Microsoft® Word

◆指導書に掲載している評価規準例のデータです。

◆評価規準作成の資料としてご利用ください。

【特長】

3つの観点別に、各章・節ごとの評価規準とその評価規準に対応する教科書の例題や問の箇所が示してあります。

評価規準の3つの観点

○知識・技能

○思考・判断・表現

○主体的に学習に取り組む態度

3つの観点別に、対応する教科書の例題や問を明示

3章 2次関数

学習内容	時間	学習のねらい	評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
章導入					
Introduction	0.5	2つの正方形の面積の和の値の考察を通して、2次関数について興味・関心を高める。			・2つの正方形の面積の和の値の考察を通して、2次関数についての関心を高め、学習に取り組もうとしている。
1節 2次関数とそのグラフ					
1 2次関数	6.5	2次関数の意味や関数の基本的な用語について理解し、関数を表す記号 $y=f(x)$ を使うことができる。さらに、2次関数のグラフの特徴を理解し、2次関数 $y=ax^2+bx+c$ を $y=a(x-p)^2+q$ の形に変形して軸と頂点を求め、そのグラフをかくことができる。	・2次関数の意味や関数の値の表し方、及び2次関数の値の変化やグラフの特徴について理解し、2次関数の式を平方完成するなどして、グラフをかくことができる。 ※例1～3、例題1、問1,2,4～9	・2つの2次関数のグラフの位置関係について考察することができる。 ※考察1-1～1-3、例題2、#問3、問10	・2つの2次関数のグラフの位置関係について考えようとしている。 ※考察1-1～1-3
2 2次関数の最大・最小	3	2次関数の最大・最小について理解を深め、グラフを利用して、定義域に応じて最大値や最小値を求めることができる。また、具体的な問題の解決に活用することができる。	・関数の定義域・値域の意味を理解し、1次関数や2次関数のグラフを用いて最大値、最小値を求めることができる。 ※例4、例題3～5、問11～14	・2次関数のグラフを利用して、定義域に応じた値域、最大・最小を論理的に考察したり、具体的な問題の解決に活用したりすることができる。 ※考察2-1、2-2、例題6、問15	・2次関数のグラフを利用して、定義域に応じた値域、最大・最小を考えようとしている。 ※考察2-1、2-2
3 2次関数の決定	2	2次関数のグラフについて与えられた条件から、その2次関数を決定することができる。	・2次関数を決定するための条件について基礎的な知識を身に付け、グラフに関する条件から2次関数を決定することができる。 ※例題7～9、問16～18		
2節 2次方程式と2次不等式					

1

シラバス案 数学 I

教科書	改訂版 数学 I Advanced (東書 数 I 002-901)	単位数	3 単位
		学科・学年・学級	普通科 第1 学年 ○～○組

1 学習の到達目標

数学的な見方・考え方を働かせ、数学的活動を通して、数学的に考える資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

(1) 数と式、図形と計量、2 次関数及びデータの分析についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。

(2) 命題の条件や結論に着目し、数や式を多面的にみたり目的に応じて適切に変形したりする力、図形の構成要素間の関係に着目し、図形の性質や計量について論理的に考察し表現する力、関数関係に着目し、事象を的確に表現してその特徴を表、式、グラフを相互に関連付けて考察する力、社会の事象などから設定した問題について、データの散らばりや変量間の関係などに着目し、適切な手法を選択して分析を行い、問題を解決したり、解決の過程や結果を批判的に考察し判断したりする力を養う。

(3) 数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

2 学習計画及び評価の観点

※評価の観点：a(知識・技能)、b(思考・判断・表現)、c(主体的に学習に取り組む態度)

学習内容	時数	月	学習のねらい	評価の観点		
				a	b	c
1章 数と式	[20]					
1節 式の計算	(8)					
1 単項式と多項式	1	4	式についての用語の意味を理解する。また、特定の文字や式の次数への着目を通して、式について多様な見方をすることができる。	○		
2 多項式の加法・減法・乗法	3		多項式の加法・減法、指数法則、多項式の乗法について基本的な計算ができる。また、2 次の乗法公式を理解し、見通しをもって式を展開することができる。	○	○	
3 因数分解	3	5	乗法公式と関連付けながら因数分解の公式を理解し、たすき掛けを含む因数分解ができる。また、見通しをもって式を因数分解することができる。	○	○	○
問題	1					
2節 実数	(5)					
1 実数	2		中学校までに学習した数を分類、統合し、実数について理解する。また、絶対値の定義を数直線と関連づけて理解し、絶対値の性質について理解する。	○		
2 根号を含む式の計算	2.5		平方根の定義を理解し、根号を含む式の計算をすることができる。また、分母の有理化を理解し、分母に根号を含む基本的な分数について有理化したり計算したりすることができる。	○	○	
問題	0.5					
探究 分母に3つの根号を含む式の有理化			分母の有理化についての学習を振り返り、分母の項の数が増えた場合について帰納的に考察することができる。		○	○
3節 1次不等式	(6)					
1 不等式とその性質	1		不等式の意味を理解し、等式の性質と関連付けながら不等式の性質を考察することができる。	○		○
2 1次不等式の解法	1		不等式を解くことの意味を理解する。また、不等式の性質をもとに1 次不等式を解く方法を考察するとともに、その解を求めることができる。	○	○	

10 教科書 Word データ

データ形式	Word (docx)
必要なソフト	Microsoft® Word

- ◆教科書の本文を Word 形式に変換したデータです。授業プリントの作成などに使用できます。
- ◆数式は、Word2007 以上に標準搭載されている数式エディタを使用しています。

数学 I Advanced p.74

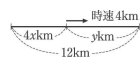
1 節 関数とグラフ

1 関数

中学校では、1 次関数や関数 $y = ax^2$ などの関数を学んだ。ここでは、関数やそのグラフについて、体系的にまとめている。

関数

例 1 家から 12km 離れた場所から、時速 4km で家まで歩いた。出発してから x 時間経過したときの、家までの距離を y km とすると
 $y = 12 - 4x$
 と表される。ただし、 $0 \leq x \leq 3$ である。



例 2 半径 x cm の円の面積を y cm² とすると
 $y = \pi x^2$
 と表される。ただし、 $x > 0$ である。



イラストや図も収録

上の例のように、2 つの変数 x , y があって、 x の値を定めるとそれに応じて y の値がただ 1 つだけ定まるとき、 y は x の関数であるという。
 y が x の関数であることを

$$y = f(x), \quad y = g(x)$$

などと表す。関数 $y = f(x)$ や関数 $y = g(x)$ を、単に関数 $f(x)$ 、関数 $g(x)$ ということがある。関数 $y = f(x)$ において、 x の値 a に対応する y の値を $f(a)$ で表し、 $f(a)$ を $x = a$ のときの関数 $f(x)$ の値という。

例 3 $f(x) = 5x - 2$ のとき

$$\begin{aligned} f(1) &= 5 \cdot 1 - 2 = 3 \\ f(-2) &= 5 \cdot (-2) - 2 = -12 \\ f(a) &= 5a - 2 \end{aligned}$$

問 1 $f(x) = -4x + 3$ のとき、 $f(0)$, $f(1)$, $f(-2)$, $f(a+1)$ を求めよ。 →P.93 問題 1

授業プリント

小テスト

課題プリント

定期テスト

他にもある
教科書 Word データの活用例

フラッシュカード

補講プリント

公式集

オリジナルテキスト

電子黒板やプロジェクタで提示しながら例や問の数値を変えて授業しています。



11 教科書 PDF

データ形式 PDF

- ◆教科書紙面の PDF データです。

電子黒板やプロジェクタに提示して、板書として活用しています。



1 節 式の計算

1 単項式と多項式

単項式と多項式

$2a$, $-3x^2$, $4x^2y^3$ のように、数、文字およびそれらの積として表される式を単項式という。単項式において、掛け合わされている文字の個数をその単項式の次数といい、数の部分を単項式の係数という。

3, -7 など、数だけの単項式は文字を含まないから、次数は 0 である。

例 1 (1) $2a$ の次数は 1, 係数は 2

(2) $-3x^2$ の次数は 2, 係数は -3

(3) $4x^2y^3$ の次数は 5, 係数は 4

$$-3x^2 = -3 \times x \times x$$

↑
係数 次数 2 個

問 1 次の単項式の次数と係数を答えよ。

(1) $5a^4$

(2) xy^3

(3) $-\frac{3}{2}x^3y^2$

2 種類以上の文字を含む単項式では、特定の文字に着目して次数を考えることがある。このとき、他の文字は定数として扱う。

例 2 $-3x^2yz$ は、

に着目すると、次数は 2, 係数は $-3yz$

x と y に着目すると、次数は 3, 係数は $-3z$

問 2 () 内の文字に着目したとき、次の単項式の次数と係数を答えよ。

(1) $4x^2y^3$ (y)

(2) $-2a^2bc^4$ (b と c)

$3xy^2 - 5y + 7$ のように、単項式の和として表される式を多項式といい、

12 詳細解答 PDF

データ形式 PDF

- ◆教科書の問、節末問題、章末問題の詳細解答です。
- ◆印刷して生徒に配布することで自学自習をサポートできます。

1 章 数と式

1 節 式の計算

1 単項式と多項式

教科書 P.6

問 1 (1) 次数は 4, 係数は 5

(2) 次数は 4, 係数は 1

(3) 次数は 0, 係数は -7

問 2 (1) 次数は 3, 係数は $4x^2$

(2) 次数は 5, 係数は $-2a^2$

教科書 P.7

問 3 $3x^3y + 4xy - 7x^2y + 5xy - 4$

$= (3-7)x^3y + (4+5)xy - 4$

$= -4x^3y + 9xy - 4$

問 4 $x^3 + x^2y - y^2 + 7x - 4y + 1$ を x に着目して整理

すると

$$x^3 + x^2y + 7x + (-y^2 - 4y + 1)$$

となり、 x については、次数は 3, 定数項は

$$-y^2 - 4y + 1$$

である。 $x^3 + x^2y - y^2 + 7x - 4y + 1$ を y に着目して整理

すると

$$-y^2 + (x^2 - 4)y + (x^3 + 7x + 1)$$

となり、 y については、次数は 2, 定数項は

$$x^3 + 7x + 1$$

である。**問 5** (1) $5x^3 - 2 + 7x^3 - 3x$

$$= 7x^3 + 5x^3 - 3x - 2$$

$$= 12x^3 - 3x - 2$$

$$= 12x^3 - 3x - 2$$

$$= 12x^3 - 3x - 2$$

$$= 12x^3 - 3x - 2$$

$$= 12x^3 - 3x - 2$$

$$= 12x^3 - 3x - 2$$

$$= 12x^3 - 3x - 2$$

$$= 12x^3 - 3x - 2$$

$$= 12x^3 - 3x - 2$$

$$= 12x^3 - 3x - 2$$

$$= 12x^3 - 3x - 2$$

$$= 3x^2 + 3xy$$

$$= 3x^2 + 2x + 1 + 3(-x^2 + 3x - 5)$$

$$= 3x^2 + 2x + 1 - 3x^2 + 9x - 15$$

$$= (3-3)x^2 + (2+9)x + 1-15$$

$$= 11x - 14$$

$$= 11x - 14$$

$$= 2(3x^2 + 2x + 1) - (-x^2 + 3x - 5)$$

$$= 6x^2 + 4x + 2 + x^2 - 3x + 5$$

$$= (6+1)x^2 + (4-3)x + 2+5$$

$$= 7x^2 + x + 7$$

$$= 7x^2 + x + 7$$

$$= 5(A-B) - 3A$$

$$= 5A - 5B - 3A$$

$$= 2A - 5B$$

$$= 2(3x^2 + 2x + 1) - 5(-x^2 + 3x - 5)$$

$$= 6x^2 + 4x + 2 + 5x^2 - 15x + 25$$

$$= (6+5)x^2 + (4-15)x + 2+25$$

$$= 11x^2 - 11x + 27$$

$$= 11x^2 - 11x + 27$$

$$= 11x^2 - 11x + 27$$

$$= 11x^2 - 11x + 27$$

$$= 11x^2 - 11x + 27$$

$$= 11x^2 - 11x + 27$$

$$= 11x^2 - 11x + 27$$

$$= 11x^2 - 11x + 27$$

$$= 11x^2 - 11x + 27$$

$$= 11x^2 - 11x + 27$$

$$= 11x^2 - 11x + 27$$

$$= 11x^2 - 11x + 27$$

$$= 11x^2 - 11x + 27$$

$$= 11x^2 - 11x + 27$$

$$= 11x^2 - 11x + 27$$

$$= 11x^2 - 11x + 27$$

$$= 11x^2 - 11x + 27$$

$$= 11x^2 - 11x + 27$$

かんたん問題プリント作成ソフト「問プリ」

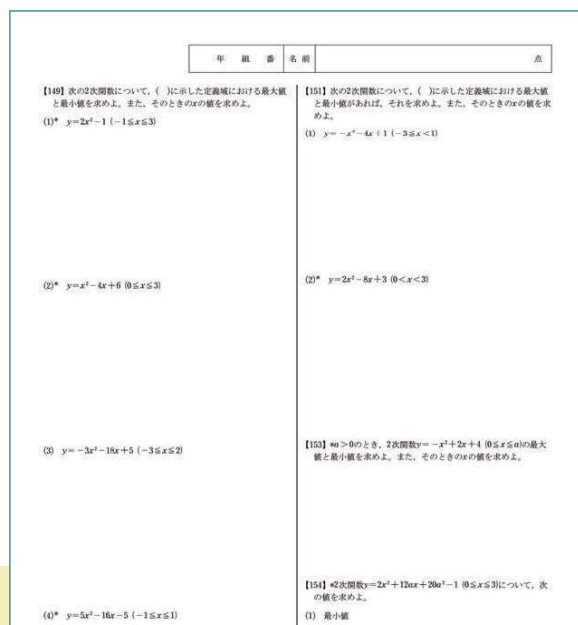


- インストール不要の「クラウド配信版」でご利用いただけます。
「学校内フリーライセンス」商品です。
- 教科書、問題集に収録の問題をデータベースから呼び出し、Word ファイル、PDF ファイルで出力することができます。
- 検索は、章、節、項、出典で行うことができます。
- 出力内容は、問題のみ、解答・解説、問題・解答、問題・解説・解答から選ぶことができます。



Word 形式または PDF 形式に出力できます。

Word 形式で編集してから印刷，PDF 形式でそのまま印刷したり，生徒に配信したりなど，用途に合わせてご利用いただけます。

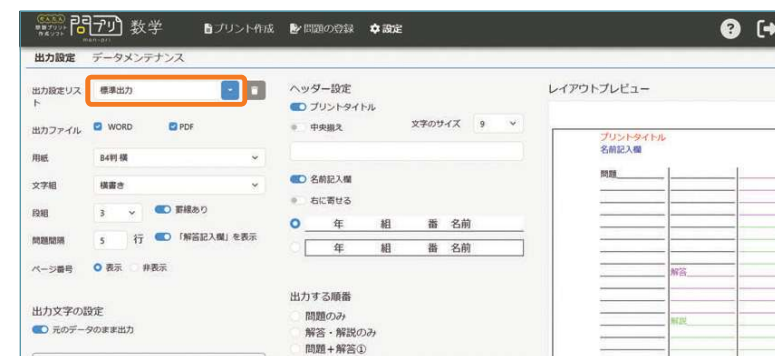


簡単3ステップ

- 1 検索設定を選んで
『検索実行』
- 2 入れたい問題をプレビューで
確認しながら選んで
『選択追加』
- 3 追加する問題が決まったら
『プリント作成』

レイアウト設定も「問プリ」にお任せ

「設定」画面で，Word 形式，PDF 形式に出力する際のプリントの設定ができます。
自分好みのレイアウト設定を保存することもできます。



数式も編集可能です。

数式は，Word2007 以上に標準搭載されている数式エディタを使用しています。
「問プリ」から出力した Word ファイルの数式を自由に編集することができます。

また， l に垂直な直線の傾きを m とすると，

$$-\frac{3}{2} \cdot m = -1$$

すなわち，

$$m = \frac{2}{3}$$

点 $(-1, 2)$ を通り， l に垂直な直線の方程式は，

$$y - 2 = \frac{2}{3}(x + 1)$$

すなわち $2x - 3y + 8 = 0$ … 答

教科書，問題集の問題を多数収載しています。

例えば，「問プリ 改訂版 数学 I」のデータベースには，右の 17 書目の教科書・準拠問題集の問題を収載しています。

教科書	準拠問題集
改訂版 数学 I Advanced	Hi-PRIME 数学 I，PRIME 数学 I
改訂版 数学 I Standard	WIDE 数学 I，WRITE 数学 I，STAGE 数学 I
数学 I Select	ASSIST 数学 I，CANVAS 数学 I
改訂版 数学 I Essence	CATCH 数学 I
改訂版 新数学 I	ニューファースト新数学 I
数学 I The 探求	QUEST 数学 I，SPACE 数学 I

「問プリ 改訂版 数学 I」：教科書『改訂版 数学 I Advanced』『改訂版 数学 I Standard』『数学 I Select』『改訂版 数学 I Essence』『改訂版 新数学 I』『数学 I The 探求』の例・例題・問と準拠問題集の全問題を収載。

「問プリ 改訂版 数学 A」：教科書『改訂版 数学 A Advanced』『改訂版 数学 A Standard』『数学 A Select』『改訂版 数学 A Essence』『改訂版 新数学 A』『数学 A The 探求』の例・例題・問と準拠問題集の全問題を収載。

クラウド配信版だから，インストール不要！

ブラウザから直接，問題プリントが作成できます。
Word 形式または PDF 形式に出力できます。

ご利用は簡単！

指導資料同梱のユーザ ID，パスワードを専用サイトにて入力するだけで，すぐにご利用いただけます。

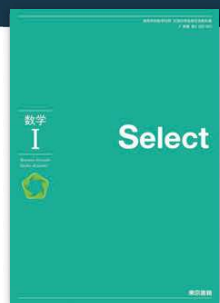


指導者用は Libry で

指導資料
付属

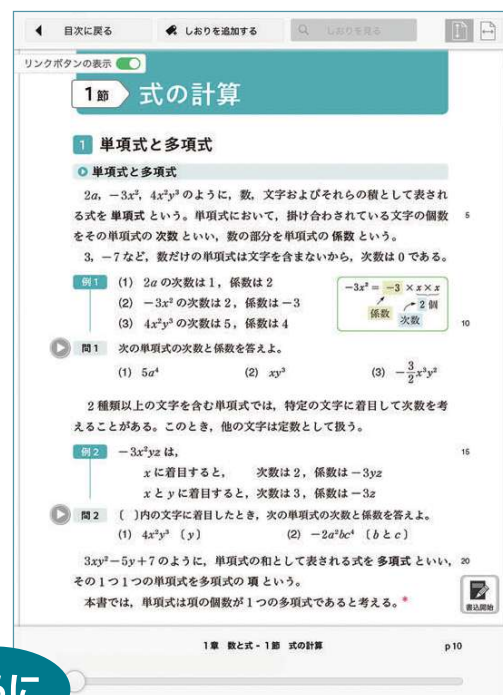
指導者用デジタルブック(指導者用デジタル教科書)

指導者用
デジタル
ブック



- ・教師用指導資料には、指導者用デジタルブックが付属します。*
- ・電子黒板やプロジェクタなどを使用して、教科書紙面や関連するコンテンツを提示することができるデジタル教材です。

プラットフォームは
Libry
を採用！



さらに

準拠問題集・参考書・指導書・朱書編も閲覧できます！

指導者用デジタルブックでは、ご採用の教科書に加えて、下記の書籍が閲覧可能です。
授業中に準拠問題集や参考書の紙面を投影したり、教材研究ができたりします。

※改訂版新数学シリーズは除きます。

例えば、数学 I Select の場合



指導者用デジタルブックの使用条件

- ・「指導者用デジタルブック」の利用期間は、収載されているデータに対する教科用図書の発行期間に準じます。

※：学校内の先生ごとに指導者用デジタルブックのアカウントを発行いたします。

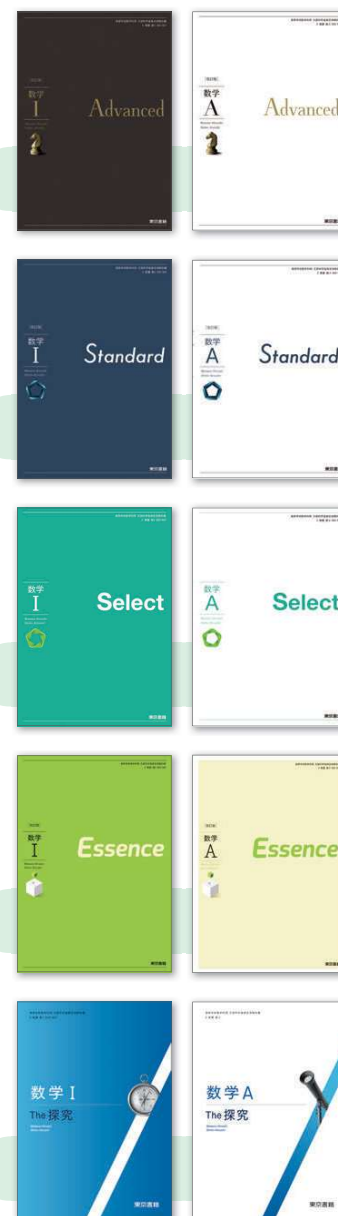
学習者用も Libry にお任せ

別売

学習者用デジタルブック・デジタルワークブック

教科書から準拠問題集・参考書、入試対策問題集まで充実のラインナップ

教科書



準拠問題集



参考書



入試対策問題集



プラットフォームは
Libry
を採用！

Libry(リブリー)とは

- ICT (デジタル) とこれまでの勉強方法 (アナログ) の理想的な融合を目指して考え抜かれたデジタル教材プラットフォームです。
- 紙のノートとペンを使った従来の勉強方法の優れた部分を残しながら、ICT のフル活用により「問題の検索」「苦手分野の分析」などを可能にし、生徒がより効率的な学習できるようサポートします。

詳しい動作環境は
こちらからご確認ください



Libry の詳しい紹介は次ページから →

生徒のメリット

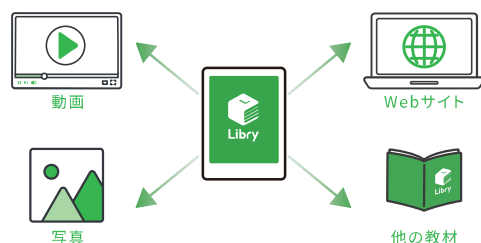
1 スムーズな教材閲覧ができるデジタル教材

Libryはいつも使っている教材をそのまま電子化し、問題検索などの学習サポート機能を備えたデジタル教材プラットフォームです。
圧倒的な軽さとサクサク感で生徒や先生方にも抵抗感なくご利用いただいています。



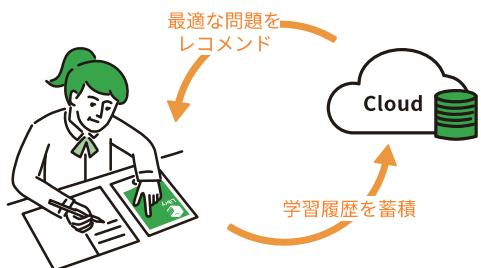
2 デジタルならではの便利機能

Libryは紙面の閲覧だけでなく、生徒のノート画像を保存したり問題と連動した動画を確認したりすることができるので、場所を選ばず手軽に学習がはじめられます。



3 AIを駆使した個別最適化学習

生徒が問題を解くと学習履歴が蓄積されます。
履歴に基づき、Libryが生徒一人ひとりに合わせて最適な問題を推薦します。
いつもの教材で個別最適化学習ができます。



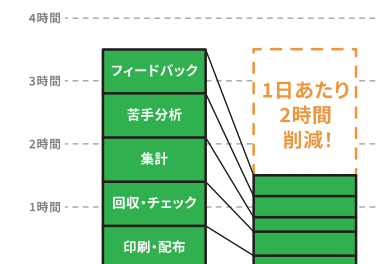
生徒の声

- 自分が問題をどのくらい解いたかの記録が残るので効率よく勉強がしやすい。
- 学習履歴を確認しながら勉強ができるので自習の習慣がついた。
- 復習すべき問題をお勧めしてくれるので苦手分野が克服できた。

先生のメリット

1 らくらくノート回収で、宿題管理業務を大幅軽減！

先生は、先生用管理ツール「Libry for Teacher」を利用できます。宿題機能を使うことで、宿題の配信・回収・集計が自動で行えるため、成績が集計しやすくなります。
また生徒のノート画像もその場で確認できるので、先生の業務時間削減にもつながります。



2 学習状況を可視化し、クラスや個人に合わせた指導改善を実現！

クラス全体の学習状況を自動で一覧化。苦手な生徒が多い問題を見つけて授業で補えたり、個人ごとの問題正答率も可視化できたりするので、生徒一人ひとりの理解度を確認しながら指導にあたることができます。

生徒の理解度、問題の傾向をチェック

問題プレビュー	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
ノートを見る	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※
正答率	100%	89%	100%	89%	89%	89%	89%	89%	89%	89%
正解率	78%	63%	44%	63%	63%	63%	75%	75%	50%	63%

生徒名	完了数 (1/10)	スタンピング (1/10)	正答率 (1/10)	正解率 (1/10)	ノート	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
小林 拓夢子	あり	あり	100%	20%	※	×	△	×	△	△	△	△	△	△	△
佐藤 真	あり	あり	100%	100%	※	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
野田	あり	あり	100%	50%	※	○	△	△	△	△	△	△	△	△	△
大木	あり	あり	100%	70%	※	○	△	△	△	△	△	△	△	△	△

3 データを活用した観点別評価が可能に

3観点の学習評価にも対応。「主体的に学習に取り組む態度」も、Libryに蓄積された学習履歴データから、学習に対する粘り強さや調整力などを見取することで、客観的かつ明確な規準での評価が可能です。

公正な主体性評価が
Libryで実現できる！



先生の声

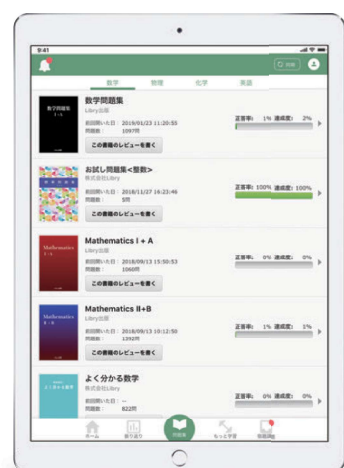
- 学習の習慣化を実現できたことで生徒の数学への関心を高められた。
- 生徒自身が学習履歴機能を活用することで成績が大きく伸びた。
- 課題進捗状況がリアルタイムで見え、効果的な学習支援に役立てられている。



Libry 機能紹介

ノートとペンを使う，学習スタイルはこれまで通り！

- 1 学習したい教材を選ぶ
- 2 紙の教材と同じようにページを進める
- 3 選んだ問題を紙とペンで解く



Libryで購入した教科書・教材の一覧から，学習したい書籍を選びます。



紙の教材と同じようにページをめくって，問題を選びます。



問題を選ぶと，その問題だけが表示されます。これを見ながら，いつも通りノートとペンで勉強します。

データの蓄積と分析でこれまで以上の学習効果が実現！

- 4 自己採点して正誤入力



解説を見ながら自己採点し，結果を入力します。解答にかかった時間は自動で計測されます。

さらに



ノート写真を学習履歴に紐づけて保存。学習や解答のプロセスも記録できます。

学習履歴がすぐわかる！



学習履歴の一覧から，間違えた問題やお気に入りの問題を絞り込めるので，テスト前に大活躍します。

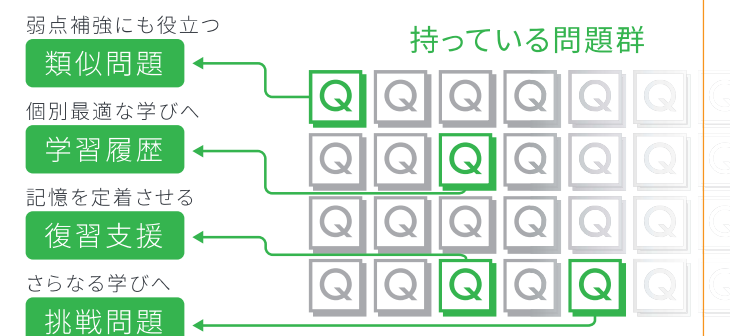
日頃のがんばりがグラフに！



これまでの勉強時間や解いた問題数などが見える化され，生徒のモチベーションが上がります。

蓄積したデータを分析！

生徒一人ひとりに合わせて最適な問題をレコメンド！



Libry だからできること





Libry for Teacher

機能紹介

あっという間に課題配信！回収や管理もラクラク！

① 課題を出すとき

問題を選んでサクッと配信

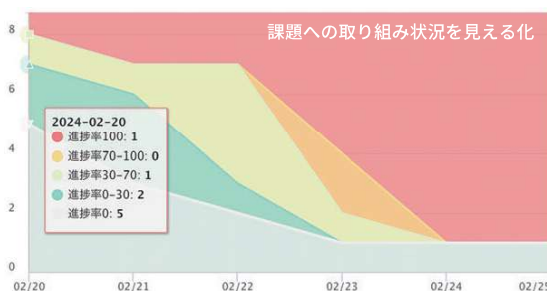
先生用ツール「Libry for Teacher」を使うと、生徒に向けて端末から簡単に課題を出すことができます。課題のタイトルなどを登録し、Libryで持っている教材の中から問題を選ぶだけで、素早く確実に生徒に課題が配信されます。



② 課題を集めるとき

回収は簡単！集計も自動！

生徒が、課題を解いたノートの写真と自己採点の結果をLibryから送信すると、そのデータがLibry for Teacherに届きます。生徒ごとの解答率や正答率は自動で集計され、画面上で確認できます。もちろん、ノートを集める手間は一切かかりません。



③ 課題を集めたあと

苦手分析もフィードバックも、先生用ツールで全部できる！

● 生徒の進捗や苦手がわかる

クラスごとに各問題の正答率が自動で集計されるので、苦手分野を把握して授業を組み立てることができます。また、提出期限前でも進捗状況がわかるので、課題への着手を促すこともできます。

● 生徒のノートを一覧できる

生徒がアップロードしたノートの写真は、問題ごとに一覧表示できます。不正解のノートを見ながら、生徒が問題をどう解いたのか、どこでつまづいたのかなど、丁寧な検証を行えます。

● スタンプでフィードバック

生徒が提出した課題に対して、「スタンプ」を使ってフィードバックを送ることができます。褒めるスタンプだけでなく、課題の再提出を促すスタンプもあり、きめ細かいフィードバックが可能です。

クラスの苦手な問題が
一目でわかります！

生徒名	解答率	正答率	問1	問2	問3	問4	問5
たくみ	100%	60%	○	×	△	○	○
はるか	80%	60%	○	×	○	○	—
まい	100%	100%	○	○	○	○	○
こうじ	80%	20%	△	×	○	×	—

間違えた生徒のノートだけを
表示させることもできます！



忙しい先生の業務支援はもちろん 新課程に則した評価まで幅広くサポート

新課程に則した「観点別評価」の実現をサポート

学校でルーブリックを作成

- ルーブリック評価支援機能を使えば、ルーブリックを活用した観点別評価の運用が簡単に行えます。
- まずは学校でどのような子どもたちを育てたいかを定め、ルーブリックで表現します。
- ルーブリックの評価軸は各学校で作成いただけるのはもちろんのこと、Libryが独自に開発した評価軸をそのまま活用いただくことも可能です。

オリジナル問題を作成・配信

- 先生ご自身で作成した独自のオリジナル問題を作成し、ルーブリックを設定して配信することができます。
- オリジナルの問題で「思考力、判断力、表現力等」「学びに向かう力、人間性等」といった資質・能力を評価し、指導することができます。
- 記述式の論述問題やレポート課題、宿題だけではなく授業中のワークなどにも活用いただけます。

// 新機能 //

生徒一人ひとりの学習履歴を指導や評価に活用

● 生徒の自主学習を支援

生徒の学習履歴をExcel形式でダウンロードすることができます。生徒ごとの問題演習量の推移や学習している時間帯、各問題のクラス内正答率などを先生が把握できるようになります。それらの学習履歴データをもとにして、生徒一人ひとりに合わせた指導や、クラスの学習内容の定着状況を把握することができます。

● 観点別評価に利用

生徒の学習履歴をExcel形式でダウンロードすることができます。宿題以外での問題演習量や、一度間違えた問題を復習しているかなどを先生が把握できるようになります。それらの学習履歴データをもとにして「主体的に学習に取り組む態度」の客観的な評価などを実施することができます。

問題の取組量は
どれくらいか

どれだけ自習しているか

どの時間帯に
よく勉強されているか



学習履歴



Excel形式で
ダウンロードできるので
自由に加工できる！

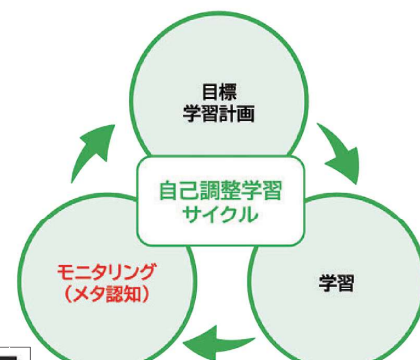


学習データレポート 紹介

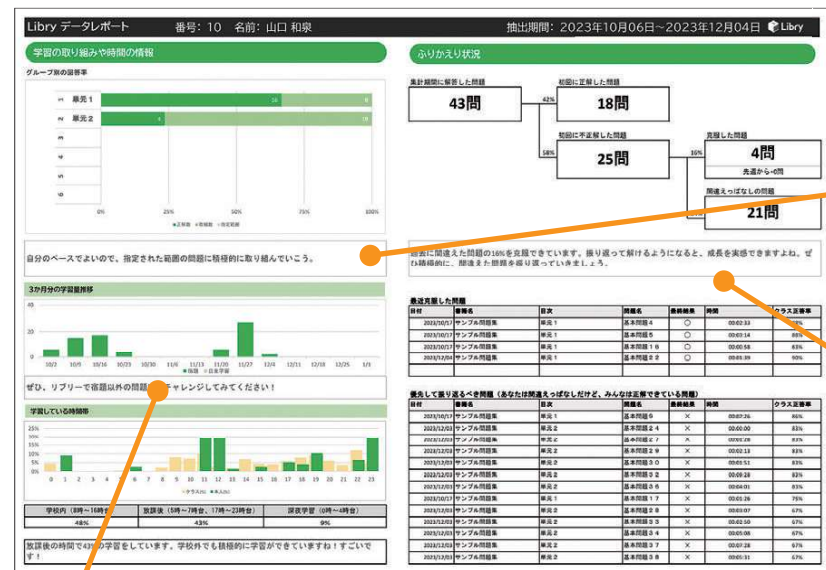
NEW

生徒の「主体的に学習に取り組む態度」の育成をサポートします！

生徒一人ひとり専用のデータレポートが出力され、生徒自身の適切なモニタリングをサポートできます。それにより、生徒の学習意欲や自律的に学ぶ力が向上します。先生は観点別評価にも活用できます。



自己理解が、次の学習行動への「思考」を促す

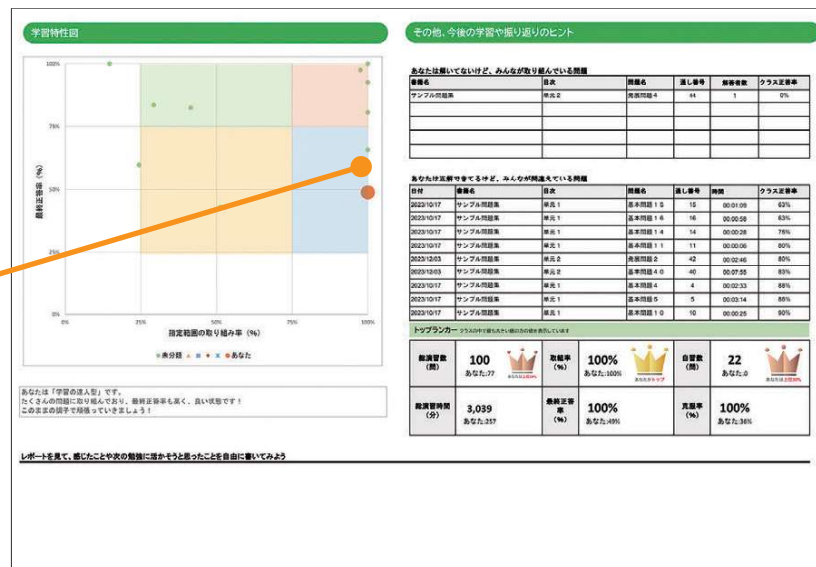


指定した範囲の問題の
取組状況を可視化
▶“やりきる”を支援します。

自分の学習状況の“全体像”
を可視化
▶自分の「振り返りの結果」
や「間違えっぱなし」を可
視化し、主体的な学びを促
します。

学習量の週ごとの推移を
可視化
▶主体的な学習の状況を確認
できます。

クラス全員の「取組度」と
「最終正答率」を可視化
▶自分の相対的な位置を把握
できます。また、「学習タ
イプ」を診断して、次の学
習のためのアドバイスもコ
メントで表示します。



Libry 利用開始までの 4 ステップ

この度はLibryの導入をご検討いただきありがとうございます。
以下の利用開始までの4つのステップをチェックしながらお手続きを進めてください。

STEP
1

先生が東京書籍営業担当者へ申込書を提出する

- ☐ 利用する教材と数量の確定
- ☐ 申込書を記入し東京書籍へ提出

東京書籍にて内容確認後、申し込みメールアドレス宛に承認依頼メールが届きますのでお待ちください。
メールが届かない場合、東京書籍にご確認をお願いいたします。

STEP
2

先生が申込内容を承認する

- ☐ 承認依頼メールから承認画面を開き注文内容を確認
メール件名は「注文承認手続きをお願いいたします。(ご注文コード:***)」です。
- ☐ 利用規約を確認し「注文承認」ボタンを押す
注文承認手続きを行うご注文が確定し、請求が発生します。
必ず商品や数量に間違いがないか確認の上でお手続きを行ってください。
注文内容に変更がある場合は注文承認せず、東京書籍にご連絡ください。

STEP
3

先生が新規アカウントを申し込む

※ 利用者全員が既にアカウントをお持ちの場合は、本ステップを省略しステップ4へ

- ☐ サポートページから申請フォームをダウンロード
- ☐ 申請フォームに必要な事項を入力
- ☐ 申請フォームを sales@libry.jp へメール送信

STEP
4

先生が教材(商品)をアカウントに割り当てる

- ☐ Libry for Teacherで教材(商品)をアカウントに割り当てる

✓

お疲れ様でした、Libryの利用を開始しましょう！

Libryでは利用開始される先生向けに導入研修(オンライン)を実施しています。
研修をご希望の先生は cs@libry.jp までお気軽にご連絡ください。

※ 研修にお申し込みいただくためには、ステップ3の「アカウント発行」まで完了している必要があります。

お試しアカウント申し込み受付中

Libryのサンプル版をお試しいただけます。
ご希望の方は、東京書籍営業担当者にお問合せください。

※ 全ての機能はご利用いただけません。

よくある質問とその回答

Q アカウントの有効期限はありますか？

A アカウントに有効期限はございませんが、教材の利用期間終了後、予告なく終了する場合があります。

Q インターネットに接続しなくても利用できますか？

A オフラインでもご利用いただけます。ただし、類似問題の検索・QRコンテンツの視聴・宿題の送受信など、一部の機能はオフラインではご利用いただけません。

※事前にオンライン環境下でLibryにログインし、教材をダウンロードしていただく必要があります。
なお、教材はデータサイズが大きいので、Wi-Fi環境下でのダウンロードをおすすめしております。

Q 初期費用、毎月の費用はかかりますか？

A 初期費用や毎月の費用はかかりません。ただし、教科書・問題集の購入には費用がかかります。

Q お試しで使用することはできますか？

A Libryのサンプル版をお試しいただけます。右記2次元コードよりお申し込みいただくか、東京書籍営業担当者にお問い合わせください。



Libryについてお困りの場合は...

各種マニュアルやよくある質問をサポートサイトにまとめております。ぜひご活用ください。

<https://support.libry.jp/>



Microsoft, Windows, Microsoft Edge は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。Windows の正式名称は、Microsoft Windows Operating System です。iOS 商標は、米国 Cisco のライセンスに基づき使用されています。iPadOS, Safari は、Apple Inc. の商標です。Google Chrome, Chrome OS, Google フォームは Google Inc. の商標です。



令和8教 高校教育部 〒114-8524 東京都北区堀船2-17-1 Tel:03-5390-7320 Fax:03-5390-7520
内容解説資料 ホームページ <https://www.tokyo-shoseki.co.jp> 東書Eネット <https://ten.tokyo-shoseki.co.jp>

A6846